

あさま
朝熊ヶ岳 ～2024 年秋のバスハイク～

報告：kawa

- 山名：朝熊ヶ岳（志摩半島の最高峰）555m
日程：2024年10月26日(土)
参加者：20名
歩行距離：13km 歩行時間：約6時間 上り804m 下り815m
行程：*通常コース 高槻IC⇒朝熊ヶ岳登山口 10:00⇒朝熊峠 11:50(昼食が13:00前になる為軽く行動食)⇒朝熊ヶ岳⇒金剛證寺⇒山頂公苑 12:50(昼食)⇒宇治岳登山口⇒赤福本店 15:50⇒宇治橋⇒団体バスの待機場所 A2 へ 16:20 集合
*短縮コース 山頂公苑まで登山(歩行時間約3時間) 山頂公苑バス停よりバスで下山

であいの広場の駐車場に到着。小雨が降りだしていたので身支度するのに東屋の屋根やお手洗いの軒がありがたかった。朝熊ヶ岳登山口からまもなく分岐があり、左の朝熊^{だけみち}岳道をとる。1町(109m)毎に町石があり、傍らの小さなお地蔵さんのお顔はまるく優しい表情で安らかな気持ちにさせてくれる。参道の両側はほぼほぼ針葉樹林で特に目を引くものがないため、もくもくと歩く。



朝熊岳道分岐



一町お地蔵さん



二十二町朝熊峠

急に明るくなった二十二町目が朝熊峠で、晴れていたら歓声上がるだろう眺望スポット。ちょっと広いスペースでベンチもある。マツカゼソウが揺れていた。東に15分ほど歩くと朝熊ヶ岳山頂。八大竜王社、立派な山頂碑無線アンテナ塔。気の早い白い山茶花の大木が満開だった。右手に経塚群との道標があったが割愛し、山上公苑へ。



八大竜王社



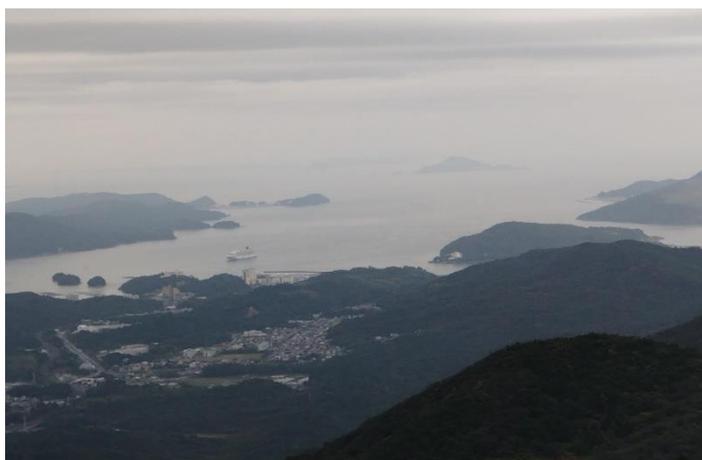
朝熊ヶ岳山頂にて



金剛證寺へ

展望広場からは小雨ながら伊勢湾や鳥羽市内が見られて満足する。その向こうに見えるはずの富士山と御嶽山は、次回のお楽しみだ。昼食は屋根のある売店前のテーブル席組と雨のなか景色を眺めながら組と、お好みで分かれた。短縮コース5名はバスで下山、しばしの別れ。通常コースの方は金剛證寺を拝観し、朝熊峠から今度は宇治岳道を通り宇治岳道登山口まで歩く。その途中に一等三角点のある朝熊山西峰(477m)があったはずだが、気がつかず通り過ぎてしまった。ゴロゴロ石が長く続き油断はできないがなだらかで、時おり眺望が開ける景色がご褒美だ。この時期に咲くというアサマリンドウ、センブリは見つけれなかった。

新しい方がたくさん参加してくださり、また久しぶりの大先達とご一緒にきて活気のある楽しい山行となりました。ありがとうございました。



展望広場にて 「富士山、どこ～」